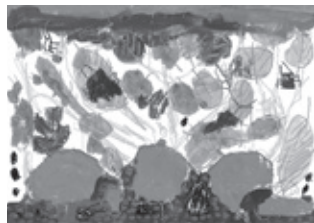


「おもいも」

榎野 颯汰 (かしの そうた) 5歳

敬愛保育園
(四州教区)

●表紙のことば●



颯汰君たちは、バスに乗って畑に出かけ、実際に自分の手でおもいも掘りをしたそうです。青々とした葉の付いた蔓をたどって掘ると土の中からたくさんのおいもがとれたのでしよう。よく見てみると、おもいもを覆うように茶色の線が描かれており、土の中に埋もれていたことを丁寧に表現しています。伸びやかに広がっている蔓も葉も、クレヨンの迷いのない線で描かれており、生命感が溢れています。

お友だちと「大きいのもあったね」「いっぱい描こう」などと話し合いながら描いていくうちに、大好きな虫がいたことも思いだして、どんどんと描き加えていったそうです。虫たちもおいも同様にさまざまな大きさ、形や色でたくさん描かれています。画面の最上部には虹色の虫もいます。実体験を表現しながらも、その再現に終始することなく、まるで自分がそこで遊んでいるかのように楽しくイメージを広げてくださいました。

おお はし いさお
大橋 功

岡山大学大学院
教育学研究科